

# ひとり親家庭の支援を通じて

## ❀ DV対策センターのケースから ❀

NPO法人DV対策センター 代表理事  
女性と子どもの居場所ディータ 代表  
穂志乃 愛莉

# 穂志乃の経験

幼いころは父親から  
結婚してからは夫から



DVの被害を受けた当事者です





DVの最も恐ろしいことは

連鎖すること

- 1, DV被害者が加害者化する
- 2, DV被害者が結婚後、再び被害者となる

# 夫からは？

モラハラや経済的DVを経験

最後は、ナイフも出てきた



5年前、夫の元から逃げることが出来た

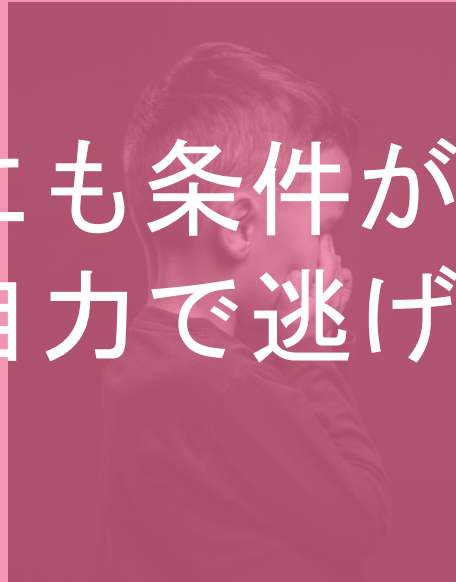
# 夫から逃げるとき 公的シェルターを頼ろうとしたら...

仕事を  
辞めなければならない

中学生以上の男の子は  
一緒に入れない

携帯電話を  
預けなければならない

モラハラ・経済的DVは  
優先順位が低い



あまりにも条件が厳しく、  
結局、自力で逃げることに

# 逃げるとき

公的シェルターの厳しい要件



逃げることを諦めてしまう人が多くいる！

ことに大きなショックを受ける

公的シェルターに入れない人のためのシェルターが必要！



公的シェルターに入れない人のためのシェルターを作りたい！

との思い

DV、虐待、貧困の連鎖を防ぐ活動をするを誓う

2019年5月

前身ラフェリーチェ立上げ

2020年3月

NPO法人DV対策センター立上げ



## ❀ 当団体の理念と活動 ❀

「すべての女性と子ども達が夢と希望を思い描いて生きていける社会」を目指して  
DV・虐待・貧困の連鎖を防いでいくための活動を行っている。

DV虐待被害世帯および ひとり親世帯の包括サポートセンターを目指しています☆

# 2022年度の主な活動

## 【realize】気づきのためのサポート

- ①啓発活動
- ②DV・虐待被害相談
- ③シェルター運営

## 【resilience】生きる力をつけるためのサポート

- ①レジリエンスセミナー開催（トラウマから脱却するために）
- ②エンパワメント講座
- ③カウンセリング・ママ向けお茶会

## 【Well-being】自立するためのサポート

- ①食支援
- ②子ども支援（居場所支援、学習・就学支援）
- ③生活自立支援（同行支援、就業支援、生活自立支援）

# 【realize】気づきのためのサポート

## ①啓発活動 2022年度

月1回 食品配布会の後に、セミナー開催

### 【テーマ】2022年度抜粋

- 元ヤングケアラーのお話から学ぶ（講師：くみ）6月
- 親子の関り確認セミナー（講師：村岡恭子）7月（8月お休み）
- 愛ある子育てとは（講師：岩朝しのぶ）9月（10月活動報告会）など

去年は、モラハラについて、脳科学から見るDVについてなどを開催。

今年度は、面会交流、性暴力、DV加害者支援などについてさらに開催予定。

# 【realize】気づきのためのサポート

## ②DV・虐待被害相談

合計249件

2022年度前半

- 対面相談 80件
- ZOOM相談 14件
- 電話相談 42件
- LINE相談 21件
- メール相談 13件
- シェルター内相談 72件

※昨年より1.4倍増加



# 【realize】気づきのためのサポート

②シェルター運営 2022年度前半 延べ988名17組36名

入居者は、増加傾向  
シェルターの数も増加  
昨年の約2倍 ↗

- 長期化傾向がある。
- 加害者となった不遇な  
女性の受入開始



## 【resilience】生きる力をつけるためのサポート

2021年から ①カウンセリング ②ママ向けお茶会

### ●カウンセリング

避難した後にラフェリーチェの近くに住む人が増加。  
その後のカウンセリングを継続。現在8名利用  
(調停のこと、子育てのこと、就業・就学のこと等)

### ●ママ向けお茶会 月一度程度の開催

避難した後の方やひとり親世帯の方向けに、  
お茶会を開催。食品配布会の時や平日の昼間など。

## 【resilience】生きる力をつけるためのサポート

2021年から ①カウンセリング ②ママ向けお茶会

### ●カウンセリング

避難した後にラフェリーチェの近くに住む人が増加。  
その後のカウンセリングを継続。現在8名利用  
(調停のこと、子育てのこと、就業・就学のこと等)

### ●ママ向けお茶会 月一度程度の開催

避難した後の方やひとり親世帯の方向けに、  
お茶会を開催。食品配布会の時や平日の昼間など。

# 【resilience】生きる力をつけるためのサポート

## 2022年度からの新たな取り組み

### ●エンパワメント講座 夏休み～9月まで週1回、10月以降月1回

#### ✿ テーマ ✿

1. 世間の枠と自分の価値観
  2. SOSの出し方
  3. 義務教育とは？義務と権利
  4. 自由と責任
  5. 1番大切にしたいもの
  6. ルールについて
  7. 感謝について
  8. 18歳成人について
  9. SNSについて
  10. 生と性について
  11. 対等な人間関係とは
  12. 自尊心
- など（テーマは様々）



# 【Well-being】 自立するためのサポート

## ①食支援

月1度の食品配布会  
2019年7月～現在まで継続中

2021年度は、3月に厚生労働省  
の食支援の予算をいただいた  
こともあり、延べ1271名となった

厚労省では、子ども支援の日にお弁当配布や  
日曜日に冷凍食品配布を行いました☆彡



## 厚生労働省夏支援の結果♪ 2022年7月～9月

- 日曜日冷凍配布 世帯数148組 世帯人数414名
- 金曜日野菜配布 世帯数25組 世帯人数:70名
- 水曜日子ども向け食支援
  - ①お弁当支援 世帯数:105組 世帯人数217名
  - ②食支援 世帯数:105組 世帯人数:217名
- 月曜日食支援 世帯数30組 世帯人数80名

総計 世帯数413組 世帯人数998名

# 【Well-being】 自立するためのサポート

## ②子ども支援

### ●教育イベント

毎月食品配布会時に開催

### ●居場所支援

毎週月・水・金

### ●学習支援

毎週水曜日に英語教室、2022年度より、サッカー教室を開始  
不登校児の学習支援（近隣中学の出席扱いとなる）



## その他、子ども支援

### ●夏祭りの開催

8月21日、DV・虐待等の事情で避難しているこども達と母子家庭の子ども達のために、夏祭りを開催しました♪

### ●思い出旅行の開催

不登校のお子さん達と一緒に、千葉県館山市に行きました☆≡  
鋸山のハイキングや釣り体験、温泉体験などを楽しみました♪

# 【Well-being】 自立するためのサポート

## ③ 自立サポート支援

### ● 同行支援

役所、弁護士相談、裁判所、病院、学校など  
手続き・相談・受診などの付添など

### ● 就業支援

就業の相談、仕事先の斡旋など

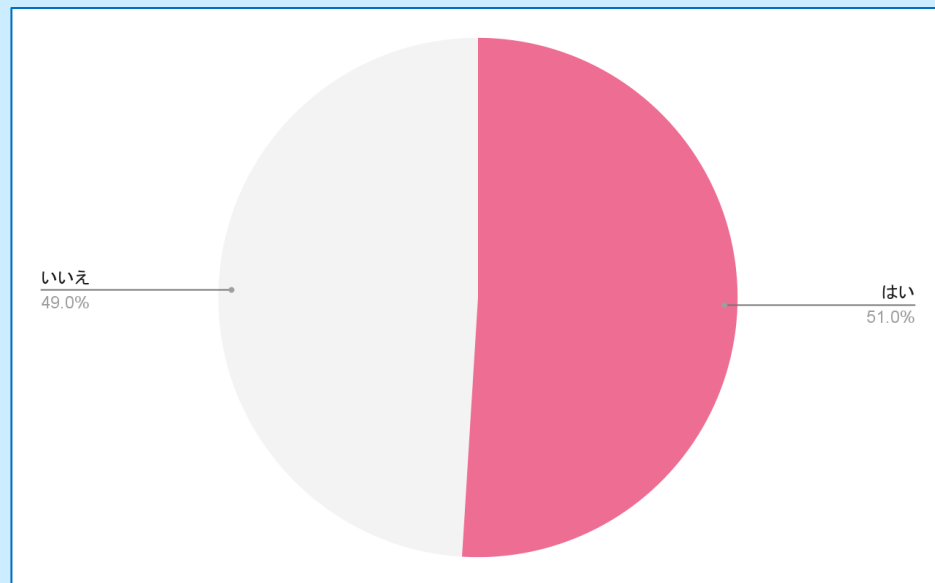
### ● 生活自立支援

生活保護申請、住宅確保支援など

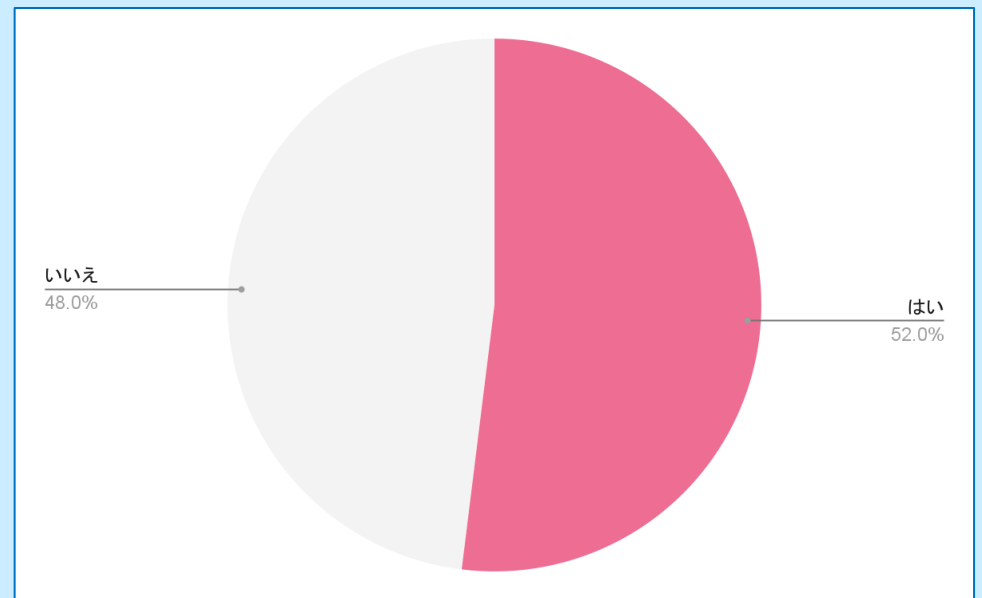
# DV被害者 102名へのアンケート結果

Q. 幼少期にDVを受けた経験はありますか？

A. 被害者



A. 加害者



# 居場所に来ている子ども達 (母子家庭、DV等で避難中の世帯)

登録26名のうち

**年収200万以下の世帯のお子さん**

→ 20名 約80%

**ヤングケアラー (親・兄弟の面倒をみている)**

→ 9名 約35%

## 当団体に来ている子ども達

当団体には、小学生、中学生までの子ども達と高校生、大学生、その他10代後半～20代の若者が多く集まっています。

広義の意味で以下総称して、子ども達と呼びます。

**対象者** ●虐待を経験した子ども達

●ひとり親世帯で、ひとりの時間が長い子ども達

●ひとり親世帯で、引きこもりや不登校の子ども達

●親から離れたい事情のある子ども達



# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 1, 対等な人間関係を築くことができない

父親から母親への一方的な高圧的な言動を目の当たりにしてきたため、対等な人間関係を作っていくことが苦手となる。

相手が自分より大きい、強いと分かると？どうなる？

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 1, 対等な人間関係を築くことができない

父親から母親への一方的な高圧的な言動を目の当たりにしてきたため、対等な人間関係を作っていくことが苦手となる。

相手が自分より弱い・小さいと分かると？どうなる？

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 2, 正しい親子間を築くことができない

親子間でも、起こりがちなこと。

親の機嫌を取ることが正しいという価値観になりやすい。

自分が何をしたいのか、どのように生きていきたいのか分からない。

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 2, 正しい親子間を築くことができない

あなたがやりたいことなんでも応援すると言っている。

AとBとCと、どの高校がいいと思う？

息子 Aが良いかなと思うんだけど。

母親 え～、Aが良いの？

息子 だよな、やっぱりBかな。

母親 Bはあまり良い噂聞かないわよ。

息子 そっか、じゃあCがいいよね。

母親 そうね、Cが良いわね。

息子 やっぱりお母さんの良いところ選ばないとな、機嫌悪くなったら後大変だし。

母親 息子と話し合っって進路を決める私って良い母親だわ。

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 3、親子間で共依存の関係が生まれやすい

共依存とは、お互いが必要以上に依存し合っている関係の事を言います。

親は子にしてあげて当たり前、子はしてもらって当たり前となり、自立の機会が失われていきます。

多くの場合、共依存関係にあることに気づくことができません。

親が子どもに異常に執着してしまうことが原因となっているケースが多い。

この子だけは幸せになってもらいたい、という気持ち  
が危険となる。

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 3, 親子間で共依存の関係が生まれやすい

### 共依存関係に陥ると

- ①自分の行動に責任を取りたくない、誰かの責任の中でしか行動することができなくなる。
- ②誰かに何かをしてもらって当たり前となる。
- ③引きこもりやニートとなる確率が高い。
- ④自分の人生は自分で決めて自分で責任を取る、ということができなくなる。

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 3, 親子間で共依存の関係が生まれやすい

### 共依存関係に陥ると

⑤結婚や恋愛ができなくなる。結婚したら、結婚相手と依存関係となるリスクが高くなる。DVとなるリスクも高い。

⑥若い時に挫折や失敗をする経験を奪われ、不測の事態に対処する能力を育む機会を失っている。

⑦自己肯定感を持ちにくい。(●●に認められないとダメな自分と感じる)

⑧希死願望を持ちやすい。(自分の人生を生きている感覚がうすい)

# ひとり親世帯の子ども達の課題

虐待や面前DVを経験した子どもが多い

## 3, 親子間で共依存の関係が生まれやすい

### 母親側の問題

- ①自身がDVを受けた被害者である。依存体質人が多い。
- ②この子にだけは幸せになってもらいたい、や。この子の為なら犠牲になってもいい。などの気持ちをもちやすい
- ③この子の幸せが自分の幸せだと思いやすい。
- ④過保護、過干渉が、子どもの自立を阻害することだと思っていない。
- ⑤社会と孤立していきがち。ますます共依存が進む。



# 子ども達の健やかな成長と 正しい自立を促していくために

## エンパワメント講座を開催

母親には、子どもとの上手な距離感を学んでもらう。  
子どもには、正しい人間関係や倫理観を学んでもらう。

①人と人は対等な関係が望ましいことを学んでいく。

(価値観について、正義とは?どこからがいじめ?  
SOSの出し方、対等な人間関係、生と性の話、など)

②世の中のルールを学ぶ。

(義務と権利、自由と責任、18歳成人について、など)

③自分を信じて、自分らしく生きていく方法を学ぶ

(夢について、ドリームマップ、夢の叶え方、自尊心など)



子ども達の健やかな成長と  
正しい自立を促していくために

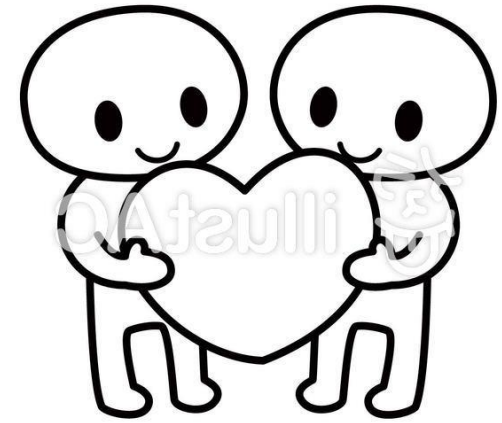
## 子ども向けシェルターを開設

毒親から逃げたい子ども達や  
ヤングケアラー状態にある子ども達の居場所

- ①親と一緒にいることが難しい子が避難できる場所を提供する
- ②ヤングケアラーの子など、家庭で大変な思いをしている子が、短期間、家から離れられる場所として提供する

☆現在、4名まで入れる居場所を開設中

就業支援・就学支援、自立支援など。  
仕事は、全寮制の仕事も多数紹介可能。



子ども達の健やかな成長と  
正しい自立を促していくために

## 食支援の充実

☆栄養のあるもの、手作りのものを食べてもらいたい

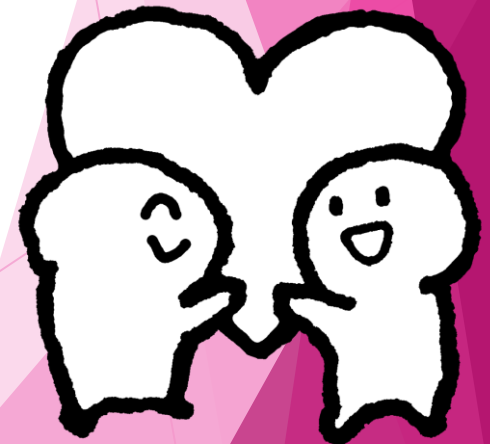
☆仕事で忙しいお母さんを少しでも助けられたら☆

☆いつもなかなか食べれないものも食べてほしい☆

☆お母さんが遅くて孤食となる子達みんなで食べたい

今後は、クリスマスケーキの配布、

おせちをみんなで食べるなど☆多企画しています。



子ども達の健やかな成長と  
正しい自立を促していくために

**ハラスメントの被害者にも加害者にも  
ならないようにしていく！**

本気で一緒に笑い、泣き、怒る場所  
寄り添いながら、家族のようにサポートする場所作り  
学習支援の充実を目指す（出席扱いとなる）

正しい人間関係の作り方、倫理観、自己肯定感向上の  
ためのプログラムを提供する

失敗しても大丈夫、そのままのあなたにすでに価値が  
あると伝えていく場所作り



# 現在の課題と今後の展望

## 1, マンパワー不足

- ➡ 解消しつつある。職員さんの数が増え、安定している。相談員は引き続き研修して増やしていく。大学生のインターン制度などを設けていきたい。

## 2, 資金不足

- ➡ 今年度は、日本財団さんや赤い羽根さんより助成金をいただき、また、内閣府より補助金をいただき運営はしていられている。しかし、寄付がまだ少なく、助成金がもらえなくなると運営が厳しくなってしまうことが課題。ファンドレイジングを学んでいく必要がある。

# 現在の課題と今後の展望

## 3、広報が苦手

- ➡ 広報の得意なスタッフがいない。  
ホームページのリニューアル試みる。  
TikTokやYouTube、インスタ、ブログ、facebookなど。  
今後、得意な人を入れていく。

## 4、シェルター利用者の対象者

- ➡ 問い合わせが多く、希望者が増えている。  
しかし、家賃や光熱費などの固定費がかかり、運営は厳しい。  
事業の効率化や経費削減など見直しが求められる。  
一方、ニーズに合わせて、若者向けシェルターの本格開設や  
DV被害者が追い詰められて加害者となる案件など、特殊なケース受入など。

# 応援団を募集しています☆≡

私達の活動に賛同してくださった方は、是非、応援をお待ちしております。

ボランティアとして関わってくださる方を募集しております。

そして、もしよろしければ、是非、マンスリー寄付会員になっていただけたら嬉しいです☆

[https://congrant.com/project/dvsupport/4459/report#tab\\_header](https://congrant.com/project/dvsupport/4459/report#tab_header)



# DV対策センターの連絡先

DV対策センターでは、シェルター運営をしています。  
DV・虐待でお悩みの方がいらっしゃいましたら、  
是非おつなぎくださいませ。

NPO法人 DV対策センター <https://dvtaisaku.jp>

MAIL : [dv.taisaku@gmail.com](mailto:dv.taisaku@gmail.com)

電話 : 080-7821-4660